

# 今週のマーケット：為替、株式、経済の最新動向（2025年5月2日）

## 目次

- [はじめに](#)
- [!\[\]\(c8dce68b26731c7aa5915072fc9d68dd\_img.jpg\) 株式市場の動向](#)
  - [!\[\]\(76b3245de86167eba9fcdc9cc9f32aa4\_img.jpg\) 米国株式市場](#)
  - [!\[\]\(13db7587f50867332e5bedc6a161739d\_img.jpg\) 日本株式市場](#)
  - [!\[\]\(7be5ea91065783fbb69e41ba5d9680f7\_img.jpg\) アジア株式市場](#)
  - [!\[\]\(20b6116a35a537c491fe1e2cc04e020e\_img.jpg\) 欧州株式市場](#)
- [!\[\]\(9e6cd34ccb2e621bcc854e8b124ba455\_img.jpg\) 為替市場の動向](#)
  - [ドル円相場](#)
  - [主要通貨ペアの動き](#)
- [!\[\]\(bb119fe28602f6188164a7a98762f831\_img.jpg\) 金融政策と金利動向](#)
- [!\[\]\(49aeb3a66f7dc15e36983c42e0317aa1\_img.jpg\) 国際貿易と政治情勢](#)
  - [米中貿易協議の展望](#)
  - [トランプ政権の通商政策](#)
- [!\[\]\(a7a27f5e6940580e878a09505a95e3b7\_img.jpg\) コモディティ市場](#)
- [!\[\]\(b724cffffa4f0175f208d25028a06541\_img.jpg\) 来週の注目ポイント](#)
- [!\[\]\(bbb434a2c30ede4710cc1781d50b17e2\_img.jpg\) 今週の市場データサマリー](#)
- [ディスクレーマー](#)

## はじめに

2025年5月2日時点の世界の金融・経済情勢は、アメリカのトランプ政権による関税政策と米中貿易摩擦に大きく影響されています。一方で、米中間の貿易協議再開の可能性が報じられ、市場はこの動向に敏感に反応しています。本レポートでは、今週の為替、株式、商品市場の動きを分析し、投資家の皆様に有益な情報をお届けします。

## 株式市場の動向

### 米国株式市場

米国株式市場は今週、テクノロジーセクターを中心に堅調な動きを見せました。5月1日の取引では、S&P500が0.63%上昇して5,604.14ポイントで取引を終えました。特にナスダック総合指数は1.52%上昇し、17,710.74ポイントで終了しました。これは主に大手テクノロジー企業の好調な決算発表に支えられた結果です。

 マイクロソフトは7.63%上昇し、アマゾン、メタは4.23%と大幅に上昇しました。

一方、ダウ工業株30種平均は0.21%の小幅上昇にとどまり、40,752.96ポイントで取引を終えました。セクター別では、テクノロジーと通信サービスが大きく上昇した一方、ヘルスケアセクターは下落しました。特にイーライリリー（LLY）は11.66%の大幅下落となりました。

市場関係者からは「テクノロジー企業の好業績がマーケット全体を支えている」とのコメントが出ています。ただし、トランプ政権の通商政策に対する不確実性は投資家の懸念材料となっています。

## 日本株式市場

日本株式市場は大幅上昇しました。5月2日の取引では、日経平均株価は419.67円（1.15%）上昇し、36,871.97円で取引されています。これは主に円安ドル高の進行を受けた輸出関連銘柄の買いが背景にあります。特に自動車セクターが堅調でした。

TOPIX（東証株価指数）は0.60%上昇し2,695.54ポイントとなりました。東証プライム市場指数も0.60%上昇しています。一方、東証スタンダード市場指数とグロース市場指数はそれぞれ0.20%と0.13%の下落となりました。

銘柄別では、A O K Iホールディングスが11.23%、D T Sが10.99%の大幅上昇となった一方、コカ・コーラボトラーズジャパンホールディングスは7.96%の下落となりました。

## アジア株式市場

アジア株式市場は、中国と米国の貿易協議再開の可能性を受けて全体的に上昇しました。日経アジア300指数は3.90%上昇し、1,770.79ポイントとなりました。

香港のハンセン指数は1.69%上昇して22,493.96ポイントとなり、中国企業株の急騰が目立ちました。一方、上海総合指数は0.23%下落し3,279.03ポイントで取引を終えています。

台湾市場は米中関係改善への期待から通貨・株式ともに上昇しており、半導体関連銘柄が特に強い動きを見せています。

## 欧州株式市場

欧州市場は小幅上昇しました。英国のFTSE100指数は0.02%上昇して8,496.80ポイント、ドイツのDAX指数は0.32%上昇して22,496.98ポイントで取引されています。

ユーロ圏の主要指数であるユーロ・ストックス50指数は小幅に下落し5,160.22ポイントとなりました。欧州株式市場は米中貿易摩擦の動向に注目しており、輸出関連企業の株価に影響を与えています。

---

## 為替市場の動向

### ドル円相場

ドル円相場は大きく円安方向に振れました。5月2日の取引では、1ドル＝145.34-35円で推移しており、前日比で0.67%（0.98円）の円安ドル高となっています。

💡 日米金利差の拡大が円安の主な要因となっています。米10年国債利回りは4.23%と上昇する一方、日本の長期国債利回りは1.26%にとどまっています。

また日米の通商交渉に関する不確実性も円安要因となっています。日本の加藤勝信財務相は、日本の米国債保有が貿易交渉における「切り札」になりうるとの発言を行い、市場に影響を与えました。

## 主要通貨ペアの動き

ユーロ円は164.33-35円と前日比0.64%の円安ユーロ高となりました。ユーロドルは小幅に下落して1.1304-06ドルで推移しています。

英ポンド円は193.38-44円と0.18%の円安ポンド高、豪ドル円は93.17-21円と0.42%の円安豪ドル高となりました。

米ドル指数は0.23%下落して99.82となっており、主要通貨に対して全体的にドルが弱含んでいます。

---

## 金融政策と金利動向

米国の10年国債利回りは4.217%と前日比で0.049ポイント上昇しました。金融市場では米連邦準備制度理事会（FRB）の利下げ時期に関する見方が変化しています。

ベセント米財務長官は「債券市場がFRBに利下げを求めているサインを送っている」と発言し、市場の注目を集めました。しかし、イーロン・マスク氏はFRBの25億ドルの建物拡張計画に対して精査を求めるコメントを発表しています。

日本銀行（日銀）については、市場では追加利上げの可能性が意識されていますが、経済データが弱含んでいることから不透明感が強まっています。日経CNBCによれば、日銀の金融政策については「不確実性が高まっている」との見方が示されています。

---

## 国際貿易と政治情勢

### 米中貿易協議の展望

中国商務省は5月2日、米国との貿易協議の可能性について「評価している」と発表しました。この発表を受けて、アジア市場は大幅に上昇し、S&P500の先物も上昇しました。

中国側は「米国が通商問題で真摯な態度を示すことを求める」とも述べており、トランプ政権による関税引き上げに対して懸念を表明しています。

### トランプ政権の通商政策

トランプ大統領は5月3日（金曜日）に2026年度の予算案を発表する予定です。報道によれば、非国防分野の裁量的支出を1630億ドル削減する計画であると伝えられています。

また、トランプ政権はイランの石油取引に対する制裁を強化し、二次制裁の可能性を警告しています。これにより、原油市場に影響が出る可能性があります。

大統領就任から100日が経過したトランプ政権の経済政策については、「経済全体には懸念材料も見られる」との分析が出ています。特に大手テクノロジー企業との関係が悪化しているとの見方もあります。

## コモディティ市場

金価格は1.11%上昇し、1トロイオンス=3,258.00ドルで取引されています。金価格は貿易戦争懸念やインフレリスクを背景に、引き続き堅調な推移を見せています。ただし、金ETFへの投資には税制面での注意点があるとの指摘もあります。

原油価格はWTI原油が0.71%上昇して1バレル=59.66ドル、ブレント原油が0.63%上昇して62.54ドルで取引されています。原油価格はトランプ政権によるイラン制裁強化の影響を受けて上昇しました。

銅価格は1.30%上昇して1ポンド=4.688ドル、銀価格は1.24%上昇して32.87ドルで取引されています。工業用金属は中国と米国の貿易協議再開への期待から上昇しています。

## 👁️ 来週の注目ポイント

- 1. **米国雇用統計**：4月の雇用統計が発表予定。関税による経済的不確実性から雇用成長が減速する可能性に注目。
- 2. **中国と米国の貿易交渉**：交渉開始の可能性および内容について市場は敏感に反応する見込み。
- 3. **日本のGDPデータ**：第1四半期のGDP速報値が発表予定。輸入増と国内需要の弱さから、四半期ベースでマイナス成長の可能性あり。
- 4. **企業決算発表**：引き続き主要企業の決算発表に注目。特に通商政策の影響を受ける企業の業績見通しが重要。
- 5. **トランプ政権の予算案**：5月3日発表予定の予算案の詳細と財政政策の方向性。

## 🇯🇵 今週の市場データサマリー

### 主要指数

| 指数      | 値             | 変化率    |
|---------|---------------|--------|
| 日経平均    | 36,871.97円    | +1.15% |
| NYダウ    | 40,752.96ドル   | +0.21% |
| S&P500  | 5,604.14ポイント  | +0.63% |
| ナスダック   | 17,710.74ポイント | +1.52% |
| FTSE100 | 8,496.80ポイント  | +0.02% |
| DAX     | 22,496.98ポイント | +0.32% |
| 上海総合    | 3,279.03ポイント  | -0.23% |
| ハンセン    | 22,493.96ポイント | +1.69% |

為替レート

| 通貨ペア   | レート         | 変化率    |
|--------|-------------|--------|
| ドル/円   | 145.34-35円  | +0.67% |
| ユーロ/円  | 164.33-35円  | +0.64% |
| ユーロ/ドル | 1.1304-06ドル | -0.05% |
| 英ポンド/円 | 193.38-44円  | +0.18% |
| 豪ドル/円  | 93.17-21円   | +0.42% |

金利・債券

| 項目         | 値      | 変化      |
|------------|--------|---------|
| 米10年国債利回り  | 4.217% | +0.049% |
| 日本10年国債利回り | 1.265% | -0.005% |
| 米30年国債利回り  | 4.721% | +0.039% |

コモディティ

| 項目     | 値                 | 変化率    |
|--------|-------------------|--------|
| 金(NY)  | 3,258.00ドル/トロイオンス | +1.11% |
| WTI原油  | 59.66ドル/バレル       | +0.71% |
| ブレント原油 | 62.54ドル/バレル       | +0.63% |
| 銅      | 4.688ドル/ポンド       | +1.30% |
| 銀      | 32.87ドル/トロイオンス    | +1.24% |

ディスクレーマー

本レポートは情報提供を目的としており、投資勧誘や投資アドバイスを目的としたものではありません。本レポートに記載されている情報は2025年5月2日時点のものであり、その正確性、完全性、または適時性を保証するものではありません。

本レポートの内容に基づいて行われる判断や行動、またはそれにより生じる結果について、当社は一切の責任を負いません。投資判断は投資家ご自身の責任において行ってください。過去の投資実績は将来の投資成果を保証するものではなく、投資には常にリスクが伴います。